

石川島記念病院

医師 竹川英徳

- 功 績** COVID-19、特にオミクロン株の水際対策として、羽田空港検疫所の健康観察業務に対して、24時間オンコール体制を敷くことにより従事した功績。
- 推 薦 者** 重田洋平
- 推 薦 理 由** 空港検疫所の待機施設における健康観察業務を、医師自らが積極的に24時間オンコール体制を構築し、COVID-19への水際対策事業に、石川島記念病院として大きく貢献できたため推薦します。

内 容

2021年初頭からCOVID-19の世界的な感染拡大があり、我が国では2021年夏頃のデルタ株による第5波における医療崩壊を経験した。そのため当院は同年9月下旬以降にCOVID-19専用病床としての運用を開始した。

12月初旬に空港検疫所においてオミクロン株が検出された。その後間もなく渡航者の空港検疫における待機所における健康観察業務が逼迫し、厚生労働省から健育会に対して空港検疫所の健康観察業務委託依頼を受け、当院の医師で対応することとなった。

当院は羽田空港検疫所の待機施設で、検査陰性者の健康観察を担当した。担当業務は待機者の発熱時の対応のみならず、不足した常用薬の処方や必要時の病状説明などが割り当てられた。24時間体制での対応が求められたため、竹川医師を中心とした医師2名で対応し、夜間休日も電話対応した。

竹川医師は3月に8件の入電を応需した。入国直後の外国人の発熱と下腿疼痛に対して、深部静脈血栓症の可能性を想起し直ちに救急受診を指示するなど、適切な対応をした。

COVID-19診療は、当院を受診している外来患者や入院患者に医療を提供することがまず肝要だが、空港検疫所による水際対策なども非常に重要な施策である。

竹川医師を中心に24時間体制を敷くことにより、国策としての感染対策に寄与した。